



STYRO™ BLUE

～青い惑星からの贈り物～

「スタイロフォーム™」を利用した美術作品と作家の紹介

PROFILE

光彫り作家 ゆるかわふう

1980年大阪府出身、2006年東京藝術大学美術学部建築科卒業
2008年東京藝術大学大学院美術研究科芸術学（美術解剖学）修了
2008-11年東京藝術大学大学院美術研究科教育研究助手
「スタイロフォーム」を使ったオリジナル技法「光彫り（ひかりぼり）」を考案し、青く光る美術作品を制作。2018年春に町立湯河原美術館にて個展「うぶつちぬゆ」を開催。日テレ「ヒルナンデス」、テレビ東京「凄技☆クラフトマン」などの多数のテレビ番組で作品が紹介されている。



INTERVIEW

●「スタイロフォーム」を作品に使うようになったキッカケは？

学生時代に建築を学んでいたため、「スタイロフォーム」を使って建築模型を作る機会が多くあり、私にとって「スタイロフォーム」はとても身近な材料でした。

その後、趣味でダイビングをするようになり、次第に海中の青い世界に魅了されていきました。海に潜るたびに、そこで体験した世界を地上で再現したいと思うようになりましたが、従来の画材ではうまく表現できませんでした。そんな中、「スタイロフォーム」に背後から白い光を当ててみると、とても綺麗な青色が浮かび上がり、「これは水の表現に使える」と思ったのが作品を作り始めたキッカケです。

●作品のテーマや技法について教えてください。

海の風景や、宇宙、静寂に包まれた夜の世界を生きる動物の息吹をテーマに描くことが多いです。スタイロフォームは青色が美しいだけでなく、絵の具では表現できない透明感のある奥行きを表現することができます。私が考案した「光彫り」は、「スタイロフォーム」に凹凸を付け、その厚みの違いによって光の明暗を作り出すオリジナル技法です。「スタイロフォーム」を画材として利用し、思うように描けるようになるまでには、専用の額縁制作から道具の選定まで、かなりの試行錯誤がありました。

●実際に作品をご覧になられた方々の反応はいかがですか。

お子さまから年配の方々まで、世代を問わず、多くの方々に喜んでもらっています。湯河原美術館で開催した個展では、とても多くのお客様にご覧いただき、アートの専門家からも高い評価を頂きました。世界で唯一の技法で描いていますので、初めて体験する青の世界に皆さん驚かれます。テレビで紹介された時も大きな反響がありました。また、近年は子どもたちを対象にしたワークショップにも力を入れています。

●今後の抱負を教えてください。

私がこのような作品を作ることができるのは、「スタイロフォーム」という可能性に満ちた材料に出会えたからです。断熱材は、地球の自然環境を守り、私たちの暮らしをより快適にするために欠かすことのできない大切な建材です。「スタイロフォーム」から発せられる鮮やかな青色は、広い海に覆われた水の惑星、地球の色そのものです。デュボン・スタイロでは、ブランドカラーであるこの青色を「スタイロブルー」と呼んでいることを聞きました。「スタイロフォーム」が放つ美しい青い光には、このかけがえのない私たちの惑星をより良い未来へと変えていこうとする願いが込められているように思います。

壁の内側や地中に隠れて、普段は見ることが少ない「スタイロフォーム」ですが、「スタイロブルー」に込められた理念とその美しさを、美術作品というかたちにして、国内外の多くの方々にご覧いただき、喜んでもらいたいと考えています。

●「スタイロフォーム」を作品に使うようになったキッカケは？

学生時代に建築を学んでいたため、「スタイロフォーム」を使って建築模型を作る機会が多くあり、私にとって「スタイロフォーム」はとても身近な材料でした。

その後、趣味でダイビングをするようになり、次第に海中の青い世界に魅了されていきました。海に潜るたびに、そこで体験した世界を地上で再現したいと思うようになりましたが、従来の画材ではうまく表現できませんでした。そんな中、「スタイロフォーム」に背後から白い光を当ててみると、とても綺麗な青色が浮かび上がり、「これは水の表現に使える」と思ったのが作品を作り始めたキッカケです。

●作品のテーマや技法について教えてください。

海の風景や、宇宙、静寂に包まれた夜の世界を生きる動物の息吹をテーマに描くことが多いです。スタイロフォームは青色が美しいだけでなく、絵の具では表現できない透明感のある奥行きを表現することができます。私が考案した「光彫り」は、「スタイロフォーム」に凹凸を付け、その厚みの違いによって光の明暗を作り出すオリジナル技法です。「スタイロフォーム」を画材として利用し、思うように描けるようになるまでには、専用の額縁制作から道具の選定まで、かなりの試行錯誤がありました。

●実際に作品をご覧になられた方々の反応はいかがですか。

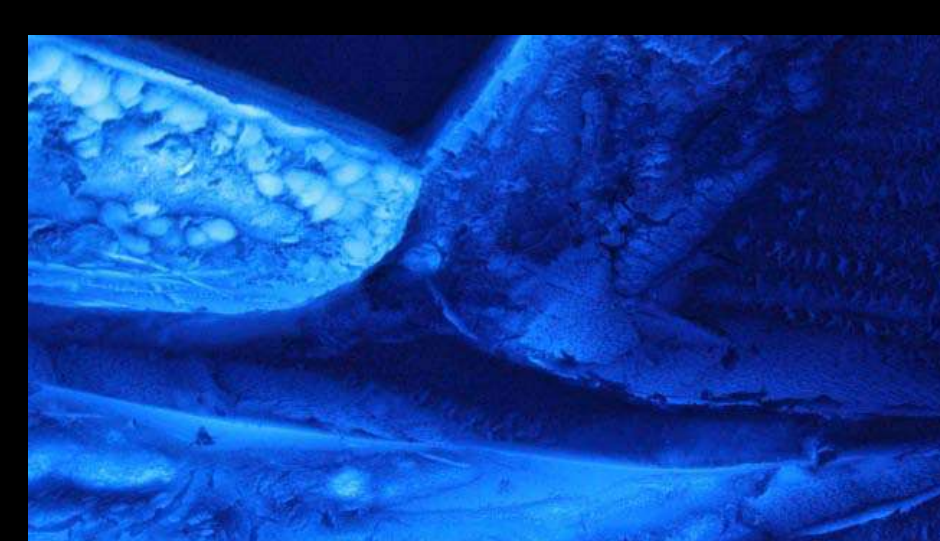
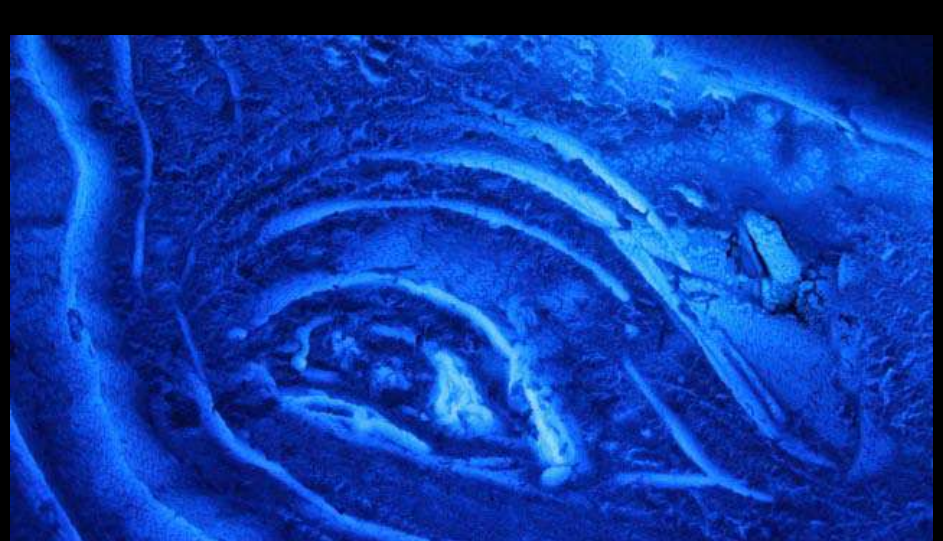
お子さまから年配の方々まで、世代を問わず、多くの方々に喜んでもらっています。湯河原美術館で開催した個展では、とても多くのお客様にご覧いただき、アートの専門家からも高い評価を頂きました。世界で唯一の技法で描いていますので、初めて体験する青の世界に皆さん驚かれます。テレビで紹介された時も大きな反響がありました。また、近年は子どもたちを対象にしたワークショップにも力を入れています。

●今後の抱負を教えてください。

私がこのような作品を作ることができるのは、「スタイロフォーム」という可能性に満ちた材料に出会えたからです。断熱材は、地球の自然環境を守り、私たちの暮らしをより快適にするために欠かすことのできない大切な建材です。「スタイロフォーム」から発せられる鮮やかな青色は、広い海に覆われた水の惑星、地球の色そのものです。デュボン・スタイロでは、ブランドカラーであるこの青色を「スタイロブルー」と呼んでいることを聞きました。「スタイロフォーム」が放つ美しい青い光には、このかけがえのない私たちの惑星をより良い未来へと変えていこうとする願いが込められているように思います。

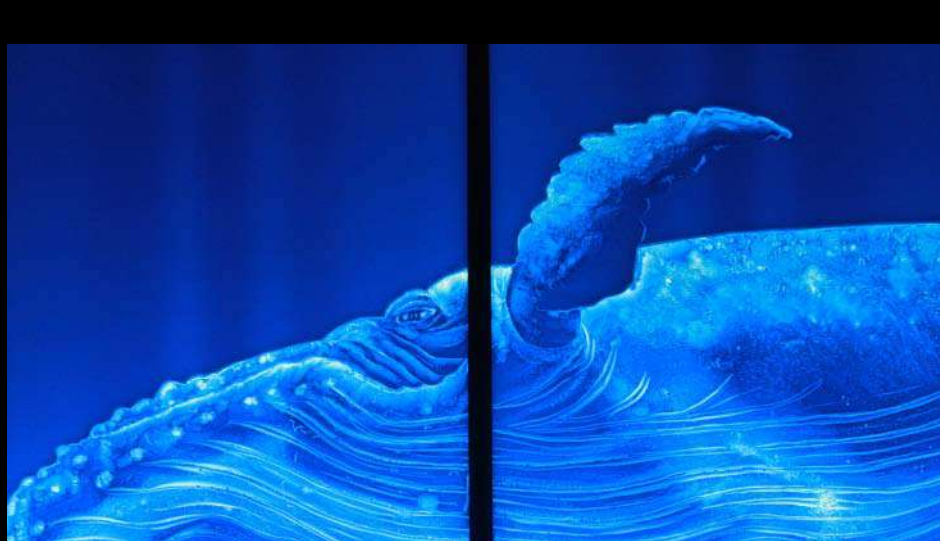
壁の内側や地中に隠れて、普段は見ることが少ない「スタイロフォーム」ですが、「スタイロブルー」に込められた理念とその美しさを、美術作品というかたちにして、国内外の多くの方々にご覧いただき、喜んでもらいたいと考えています。

光彫り技法



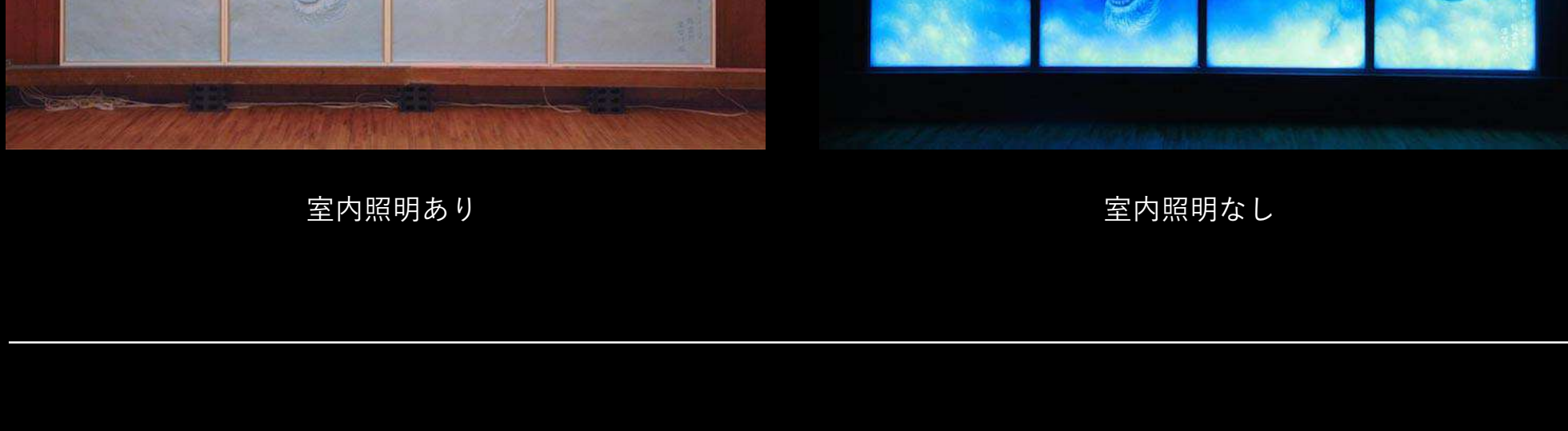
「光彫り技法」は、作家が独自に考案した世界で唯一のオリジナル技法です。「スタイロフォーム」の背後から白色 LED の光を透過させ、表面を溶かしたり削ったりすることで薄くなった部分をより明るく光らせて描く技法です。彫れば彫るほど明るくなり、光が溢れてくることから「光彫り」と名付けました。

LED ライトや絵の具による着色はせず、「スタイロフォーム」が本来もっている青さと、厚みの違いのみで、光の陰影を表現しています。



室内照明あり

室内照明なし



社長の有友と光彫り作家のゆるかわふうさん（湯河原のアトリエにて）

デュボン™、デュボンオーバルマーク、並びに™、SM、及び®表示のあるすべての標章は、米国デュボン社の関連会社の商標又は登録商標です。

●作品に関するお問い合わせ
スタジオ・トロッコ
〒259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 749-45
E-mail torocco@yurukawafuu.com
ホームページ <http://www.yurukawafuu.com/>
facebook <https://www.facebook.com/yurukawafuu/>
instagram <https://www.instagram.com/yurukawafuu/>